

# ワークショップ・カルチャークラス一覧表

SAKURA, FUJI のグループで受講時間は変わりますが、クラス内容はすべて同じです。

## A) セッション A - 8月4日 AM

A-1	日本の新曲紹介	谷内 邦彦 (日本)	日本国内でも数多くのハンドベル用の作曲・編曲作品が出版されるようになり、その数は400種類以上になりました。このクラスでは、最近出版された作品の中からいくつかご紹介し、実際に演奏していただきます。
A-2	チェンジリング	Philip Bedford (オーストラリア)	400年の歴史をもつチェンジリングを解説します。特に2つの代表的な形式のうち、現在も世界中のチェンジリングによって行われている「メソッド」リングングを体験していただきます。
A-3	盆石 - 細川流家元が 教える日本古来の アート	横山 宗石 (日本)	盆石の発祥は、遣隋使、遣唐使の御世に石術として飛鳥に伝わったものとされています。石を山と見立て、大理石の砂を使い波や川など大自然の縮図を表現する盆石は、日本古来の伝統芸道であり、最近では自然石を使う新しいアートとしても注目されています。
A-4	音符に依らない 楽譜とその指導法	本田 強一 (日本)	楽譜が苦手な高齢者や子供、知的障がい者や授産施設、老人ホームなどの利用者が、協力し合ってハンドベルを愉しむと共に、職員や健常者とも一緒に音楽活動が出来る様に、市販にはない楽譜の作り方と指導法を実習します。明日からの活動にすぐに役立つ内容です。
A-5	カナルウェア・ ペインティング	Margaret Farnie (イギリス)	18～19世紀の産業革命期に、英国の細長いカナルボート(運河船)で働いていた人々の日用品を装飾していたペインティング・アートに挑戦します。当日は、小さな木製のベルにこの方法でペイントして、記念にお持ち帰りください。
A-6	チーム・ビルディング - ハンドベルを もっと楽しむための チーム作り	Marlene Anderson (アメリカ)	ハンドベルはチームプレイです。メンバーをよく知り、情報を共有し、信頼しあうことで一体感が生まれ、チームとしての自信につながります。リンガー、指導者を対象に、私たちが毎年行っているワークショップからチーム作りのヒントをお伝えします。
A-7	ベルツリーに挑戦!	Barbara Brocker (アメリカ)	中～高音域のハンドベルを専用のスタンドに吊り、マレットを使って一人で演奏する「ベルツリー」に挑戦してみませんか? このクラスでは少人数のグループに分かれて実習します。ベルツリーに必要な器具や楽譜についても紹介します。
A-8	シンガポール - ニュー・アジアの国	Baba Damien Lim (シンガポール)	シンガポールではどんなものを見て、体験して、楽しむことができるでしょうか? 人口420万、東南アジアの独立国シンガポールの、食事や文化、そして素晴らしいハンドベルとアートの世界についてご紹介します。
A-9	ジェギ・チャギ - 韓国の遊び	Eui Gon Kim (韓国)	ジェギとは、硬貨などを韓国の伝統的な紙や布で包んだもので、これを落とさないように蹴っていく遊びがジェギ・チャギです。ジェギを落とさずに最も多く蹴り続けた人が勝ち。韓国伝統のスタイルでジェギを作り、いろんな遊び方を覚えましょう。

## B) セッション B - 8月4日 PM

B-1	米国新譜紹介	David Weck (アメリカ)	米国で出版された讃美歌、クリスマス曲、オリジナルなどのさまざまなハンドベル新譜を、次々と演奏していきます。曲は3～5oct、レベル2～3の曲が中心で、リンガー、指導者、どなたでもご参加いただけます。
B-2	英国式 オフテーブル・ リングング	Sandra & Martin Winter (イギリス)	伝統的な英国式オフテーブル・リングングによる演奏法を学びます。音の消し方、ベルのまわし方など、「バックリング」スタイル(テーブルに置かれたベルを上において音を出す)による様々なテクニックをご紹介します。
B-3	音楽療法	門間 陽子 (日本)	音楽療法とは、「ねらい」をもった「音楽の活用」法と言えます。「音楽」は、相手の状況に応じて選択し、ハンドベルもその選択肢の1つです。この講座では、音楽療法の概要(ハンドベルを用いた活動にはどのような療法的・教育的なねらいが含まれているか)をお話します。
B-4	アンサンブル リングングを 楽しもう	谷本 智子 (日本)	4人1組になり、カルテット曲の初見演奏にチャレンジ。また、少人数での演奏上不都合のある、楽譜のミスや問題点を発見・指摘し、対策を講じる課題を用意するなど、少人数アンサンブルならではの、パズル解きのような面白さを味わっていただきます。
B-5	キウィ・コアラ・ カンガルー	Alison O'Connell (オーストラリア)	オーストラリアとニュージーランド特有の動物について学びましょう。彼らはどこに住んで、何を食べているのでしょうか? また、このクラスでは、フェルトで動物たちの1つをかたどったキーホルダーを作ります。大会バッグの飾りにどうぞ。(簡単な裁縫の技術が必要です。)
B-6	落語ってなに? - プロの落語家 による英語落語と 落語のお話	桂 福丸 (日本)	たった一人で複数の人物を演じ分ける落語という芸能は、世界で唯一、座ったままで演じられる一人芝居です。落語家はどのようにして人物、情景を描き出しているのか...。日本人のジョークや笑いの文化に触れられ、日本の方でも十分に楽しめます。肩の力を抜いて笑っていただければ結構です。
B-7	中音域ベルの ストップ・テクニク	Jennifer Cauhorn (アメリカ)	ベルの音を消すためのストップ・サウンド・テクニク...いくつか存じですか? マレット、ブラック、マルテラート、サムダンプ、エコー、コントロール・ダンプなど、中音域ベルを中心に学びます。
B-8	指揮法基礎	John Hooper (カナダ)	「1、2、3、4」とカウントするだけの指揮から、ジェスチャーによる具体的に明確な指示による、一体感ある表現方法の習得を目指します。一歩進んだテクニクを取り入れることで、曲の入り、終止、テンポ、拍子、強弱、スタイルをリンガーにわかりやすく示すことができます。

## ワークショップ・カルチャークラス一覧表

### C) セッション C - 8月6日 AM

C-1	Have a Fun! - ハンドベルで アニメ・ワールド	白神 順子 (日本)	「ドラえもん」を始め、「となりのトトロ」「崖の上のポニョ」など...現代の日本文化を代表するアニメには、思わず口ずさんでしまう素敵な音楽もたくさん詰まっています。ハンドベルと一緒に楽しく演奏してみませんか？皆さんのご参加お待ちしております！
C-2	礼拝でのハンドベル 活用法	David Weck & Jane Holstein (アメリカ)	礼拝で会衆讃美を盛り上げるための、ハンドベル活用法の数々をご紹介します。ベルを使った様々な音の表現や奏法も学んでいきます。クラスではぜひ一緒に、ハンドベルを演奏し、讃美歌を合唱しましょう。
C-3	中国の切り絵アート	Emily Li (香港)	6世紀から中国に伝わる切り絵アートをご紹介します。国や地域をモチーフとして、長い歴史を歩んできた伝統のアートです。基本的なカッティング技術を学んだ上で、自分の手で素晴らしい切り絵の世界を体験してみましょう。
C-4	指揮法上級	吉田 年一 (日本)	指揮の基本を学ぶとともに、簡単な楽曲を用い、実践的な観点から講義を行います。曲を理解し、的確に演奏者に伝達し表現させる「指揮者」として必要なテクニックを、実際に受講者にも振っていただきながら、紹介していきます。
C-5	伝承の遊び	大野 敦子 (日本)	古くから日本に伝わる遊びを体験しませんか？今回は、「折り紙」「コマ回し」「あやとり」「けんだま」「お手玉」の5つを用意しました。童心に返って、懐かしい時間を過ごしましょう。手を使った遊びばかりなので、大人になると、なかなか難しいこともありますが、笑いながら楽しくいきましょう。
C-6	フォー・イン・ハンド 講習	Gay & Alan Cooper (イギリス)	世界中の様々なフォー・イン・ハンドを紹介します。組み方、音の出し方、順番、ベルの選び方、インターロック...こうしたテクニックの組み合わせで、より柔軟な演奏が可能に。演奏中に組む/外す練習や、音の消し方も考えていきます。フォー・イン・ハンド経験者にお勧め。
C-7	カナダの文化	Alison Wood (カナダ)	990 kmにおよぶ、息をのむような北の大地、カナダ。そこに住む、先住民をはじめとした多様な人々の文化を、様々なアクティビティ体験を通して学びます。今年の冬季オリンピックでも見られた、真にカナダらしいシンボルやアクションもご紹介します。
C-8	ラテンダンス	Campanas Universitarias/ Nelida Munoz (アメリカ)	プエルトリコ大学のチームによるラテンダンスのクラスです。今回は様々な国の曲を、その由来や意味と共に、基本のステップやリズムを学んでいきます。アルゼンチンからブラジル、ペルー、メキシコ、さらには大アンティル諸島へと、ダンスで旅をしてみませんか？

### D) セッション D - 8月6日 PM

D-1	ベルで日本の調べを 奏てよう！	岡本 和子 (日本)	古くから日本に伝わる「わらべうた」や「民謡」そして「童謡、唱歌」等、「日本の曲」をベルで演奏します。日本の曲はベルの響きによくマッチします。ひとあじ違う日本独特の調べをベルの響きで存分に楽しんでみませんか？
D-2	変拍子の攻略法	Kath Wissinger (アメリカ)	変拍子のカウント方法や演奏の秘訣を紹介します。そのあと実際に演奏してみましょう。拍子を一定に保ったり、変化に対応するためには、視覚的なサポートや体の動きが役に立ちます。
D-3	韓国の文化体験	Little Angels Bell Choir (韓国)	韓国のチームによる韓国文化体験クラスです。韓国の伝統衣装(ハンbok)を着て、ソゴと呼ばれる小鼓や、金属製の伝統的打楽器などを演奏いたします。そのあとは皆さんも一緒に韓国楽器を体験してみましょう。
D-4	マルマークの ベルケア	Kathleen Ebling (アメリカ)	マルマーク社によるベルケア講習。マルマーク社のハンドベルとクワイアチャイムの、基本的な作りと機能を解説します。日常のお手入れやメンテナンス方法の実演および、定期的なケアの推奨スケジュールについてもご紹介します。
D-5	ビーズでつくる 梅の花	大西 由香 (日本)	梅の花のモチーフをビーズでつくります。梅は桜よりも古くから日本で愛されてきた歴史をもち、また開催地大阪府の花でもあります。小さいパーツを扱う細かい作業の連続になりますので、ビーズ初心者の方は登録時にお申し出ください。
D-6	「おこと」で「さくら」を 弾いてみよう！	横山 ゆうこ (日本)	日本の伝統楽器である「こと(箏)」を体験してみませんか？今回は簡単なレクチャーと、「さくら」の演奏にチャレンジしていただきます。オリジナルの譜面を用意。日本人にもなかなか触れる機会がない「こと」に、世界のリンガーたちと一緒にぜひトライしてみてください。
D-7	ハイベル・テクニク のすべて	Lynne Marks (アメリカ)	高音部ベルの様々なテクニク - フォー・イン・ハンド、シェリー、ベル・ウィズ・チャイム、音消しのテクニク、マレットや、適切なアサインメントなどについて紹介します。参加者は高音部のベル(C6以上)を持参してください。見学のみ参加も歓迎です。
D-8	知られざる ハンドベルの世界	Alan Hartley (イギリス)	初期のハンドベルコンテストや曲、音楽形態など、ハンドベルという魅力的な世界にまつわる歴史と秘話を、スライドを使ってご紹介します。全てのリンガーにとって興味深い話であり、特に、ハンドベルを説明する機会のある方は必聴です。
D-9	スコットランドの カントリーダンス	Ruth Cantlay (イギリス)	スコットランドの伝統的な集い「ケイリー」で踊られるダンスのうちいくつかを、一緒に踊ってみましょう。スコットランドのカントリーダンスの中でも堅苦しくなく、リラックスした雰囲気、競技目的ではなくただ楽しむために踊られる、それがケイリーダンスです。